様式３(2015.06改)

作成日　平成元年９月２１日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2393000415
事業所名	グループホーム猿投の楽園

【重点項目への取組状況】

		評価
重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	
	利用者が地域の「交流館祭り」や「ふれあい祭り」に参加する際には、係（担当者）が座席を確保してくれる。 中学生時代に体験学習で訪れた高校生が、今ではボランティアとしてホームを訪れている。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	評価
	毎偶数月に運営推進会議を開き、年間6回の開催である。 家族代表、地域包括支援センター職員、区長、民生委員児童委員、医療機関スタッフ等、多彩なメンバー構成で、効果的な会議運営が行われている。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：４）	評価
	地域包括支援センター主催の認知症カフェに協力し、年間6回の開催を後押ししている。 市から案内のある研修には積極的に参加し、職員の意識の高揚を図っている。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	評価
	家族の意見・要望を聞き取る機会として、年に2回の家族会があるが、家族の来訪時にも積極的に職員から声掛けをして聞き取っている。 毎月発行されているホーム便りは、利用者の発案で「いちじくだより」と名付けられた。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確　認　事　項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	－	－	－	－	－	－	－	－	○	○	○